

夏休み期間【平日/9:30～19:00、土日/9:30～17:00】

☆9月1日からは、通常の開館時間に戻ります☆

読書通帳にスタンプを押そう!!

7/1～8/31の間、10冊たまるとにスタンプから1つ選んで押せます。スタンプが4つたまるとプレゼントがあります。お楽しみに!!

図書館利用カードが来館せずに申請できます!

「南風原町立図書館ホームページ」→画面中央あたりの「WEB利用カード申請・更新・変更」をクリックすると、来館せずにカードの申請・更新・変更ができます。図書館に来館することが困難な場合などに、お気軽にご利用ください。

夏休み親子工作 『動物ストラップを作ろう!』

日時:7月25日(金)11:00～12:00

場所:町立図書館 絵本コーナー

対象:町内の幼稚園～小3の児童で

親子で参加できる方

定員:7組 参加費:無料

申込:図書館カウンターにて、

7/7～受付開始

定員に達し次第受付終了します。



図書館だより

問 町立図書館 ☎889-6400

開館時間/10:00～19:00(土日17:00まで)

休 館 日/毎週火曜日、第4木曜日、祝日



7月 受入予定図書

都合により受け入れが遅れる場合があります
(詳しくは図書館まで)

★ありか／瀬尾まいこ

★団地メシ!／藤野千夜

★抗ガン剤を使わなかった夫／倉田真由美

★こんなことで、死にたくなかった／高木徹也

★コストコ大百科／晋遊舎

★鬼滅の刃～炭治郎と鬼殺隊の未来編～／吾峠呼世晴

★はじめての推し活／劇団雌猫

★パンダのおさじとせっけんパンダ／柴田ケイコ

ホームページは
こちらから



いつでも
どこでも読める
電子図書館



申し込みは
こちらから



文化の泉 宝物

No.66

問 文化センター ☎889-7399

終戦80年特集⑤

収容所からはじまった戦後

地上戦の中、捕虜となった人々は収容所に送られ、戦後の生活を始めます。しかし、4月に捕虜になる人もいれば、6月以降も暗い壕や岩陰に身をひそめた人もいます。

4月に疎開先の宜野座村で捕虜となった女性は一島尻は戦争中だったのに私たちはこんなのにきに捕虜生活をして、その様子をどうにか島尻の人に伝えられぬものかと朝夕南の空を眺めて悲しんだ」と心境を語っています。また、送られた収容所の場所も様々で、現在の南城市知念や沖縄市、宜野座村や名護市などが挙げられます。そして収容後も米軍の指示で収容所を転々と移る人もいれば、避難中に生き別れた家族を探して収容所を移る人もいました。

なお、収容所ごとに食料事情は異なり、米軍から食料配給(おにぎり・メリケン粉・缶詰など)はありましたが、量に差があったようです。そのため食料が足りない家族は自力で探すほかなく、「カンダバー(さつまいもの葉)を探しに行ったら、地元の人から泥棒呼ばわりされた」という証言もあります。

1945年12月、現在の与那原町大見武に南風原村民を集める収容所建設が始まります。そして、12月20、29日までに国頭各地から南風原・大里両村の避難民2,316人を受け入れ

ています。その後、与那原や那覇などの避難民も移動し、2月には隣接する宮城まで収容所の範囲は広がられました。最終的に約8,500人が収容されています。

収容所では、食料探しや野菜などの種苗を北部まで買いに行く「増産班」・シラミ駆除や遺骨収集などを行う「衛生班」・かやぶき屋根の家を建設する「建設班」がつくられ、復興の準備が進められました。

そして1946年1月23日には、収容所内に南風原村役所が設置され、避難民の受け入れや食料・物資の配給などを進めていきます。

ただし大見武でも食料・物資は不足していたようで、米軍のゴミ捨て場から食べ物を探したという証言のほか、米軍の倉庫から食料や物資を盗みだし、生活の足しにする人もいました。これを「戦果をあげる」と言いました。(保久盛)



▲沖縄島内の収容所のようす
(場所不明) [沖縄県公文書館所蔵]

学校応援隊 はえばる

ボランティアに協力いただける方は、ぜひお電話ください。

問 中央公民館 ☎889-0568

学校応援隊はえばる「イオン南風原店活動写真展示」

7月25日(金)～8月3日(日)1階ベスト電器前 問 中央公民館 ☎889-0568

南風原小学校

5月27日～7月7日(全6回)

クラブ活動

毎年、児童が楽しみにしているクラブ活動がスタートしました。今年度は10のクラブに50人の方が講師として関わっていただいています。地域の皆さんの温かいお気持ちに支えられ、どのクラブも充実した活動になっています。



◀クラブ講師の皆さん

南風原小学校 5月7日 翔南小学校 5月20日 6学年

南風原小学校 4学年

5月2日

議場見学

よりよい暮らしの実現のために南風原町議会ではどのような取り組みが行われているか、児童が議員から説明を受けました。



「将来、この中から議員になってくれる児童がいることを期待しています」と議員よりメッセージがありました。

◀児童の質問に答える
あかみね なつえ
赤嶺奈津江議長

南風原町社会福祉協議会見学

4年生は社会福祉協議会を訪問しました。職員から社協の取り組みを詳しく教えていただき、その後に施設見学を行いました。



児童からは「住民が幸せに暮らしつづけるための取り組みが分かりました」と感想がありました。

◀社協職員から、丁寧に教えていただきました。

はえばる エコセンターだより

町内にお住まいの方優先で、エコを身近に感じられる体験を毎月開催しています。お申し込みはエコセンターへ来店、または電話にて予約ください。※各講座の詳しい持ち物・注意事項は予約の際にお伝えします。

問 はえばるエコセンター ☎889-4425

藍染め

藍染めで布類をリメイクしてみませんか? Tシャツやハンカチなど、リメイクする布類を持参してください。【Tシャツ1枚程度まで】

一般向け

【日時】7月15日(火)10:00～12:00

【場所】はえばるエコセンター

【料金】1人につき1,000円

【定員】5人

親子向け

【日時】7月29日(火)10:00～12:00

【場所】はえばるエコセンター

【料金】1人につき1,000円

【定員】10人

紙すき

牛乳パックをリサイクルして紙すき体験を行います。

持ち物 タオル

【日時】8月1日(金)

10:00～12:00

【場所】はえばるエコセンター

【料金】100円

【定員】4組まで



川の観察会

川に住む生き物を探し観察をします。小学3年生以下は親子同伴でお願いします。



【講師】

嶋津信彦氏(しまず外来魚研究所)

石神安弘氏(Natural Box株式会社)

【日時】8月19日(火)9:30～11:30

【場所】国場川(イエローハットの裏手)

【料金】100円 【定員】20人